

アメリカ オレゴン州 ヴァーノニア高校 里永さん

留学期間：R1.8～R2.5（1年間）

私は、昨年の8月中旬から今年の5月下旬までの約10ヶ月間の予定で、ホームステイをしながら、アメリカ オレゴン州ヴァーノニアという小さな町に住んでいます。この町は、山に囲まれた自然豊かな町です。



化学の授業の実験の様子

私が通う高校は、全校生徒300人の小さい学校ですが、私を含め世界各国から16人の留学生が、通っています。留学生活が始まって5ヶ月が過ぎましたが、アメリカにも慣れ、楽しく生活を送っています。しかし、留学生活はときに過酷です。特に、最初の1ヶ月間は英語になれるのに本当に苦労しました。例えば、友達が何を言っているのか分からなくて、会話についていけない、学校の授業が理解できないなど、とても大変でした。でも、このような苦難は時間が解決してくれました。



ホストファミリーと

ここに来て、3ヶ月が過ぎ、耳は、英語を自然に受け入れるようになり、今では日常会話は、ほぼ問題なくできるようになり、ファストフードでのオーダーもスムーズ

に出来るようになりました。友達と遊びに行く機会も増え、徐々に会話力も付いてきました。勉強は、難しいので友達やホストファミリーに助けってもらったりしながら頑張っています。また、今バスケットボールのチームに入り頑張っています。前のシーズンでは、クロスカントリーをしていました。



友達と海へ行った時の様子

クロスカントリーを始めた当初は、アメリカに来てまだ1ヶ月過ぎた頃で、私は、チームのメンバーとの会話すら出来ず、いつもホストブラザーとその友達だけとしか話していませんでした。クロスカントリーの練習は、1日に6キロの山の中のオフロードを走ったり 200m×20本をこなしたり



クロスカントリーの大会に参加

日に日に過酷になっていきました。その1日の練習をしっかりとこなしていき、練習後にメンバーと「よく頑張った。」と声を掛け合い、次第にメンバーとの距離も近づいていきました。練習を通し、メンバーから認められた気がしてすごく嬉しかったし、学校内での友達との交流が増えました。残りの留学生活も勉強、友達との交流、スポーツを充実させた生活にします。

私は、学校でシニアクラスに入っているのですが、4月頃に修学旅行があります。おもしろいことに、旅行に行く生徒たちは学校や地域の手伝い、ボランティアに参加して自分で旅行の資金を稼ぐことが出来ます。例えば、学校でアメリカンフットボールの大会の日に、自分の家で作った手作りのお菓子を持っていき、試合に観戦しに来ている人に販売したり、毎週第3土曜日に缶、ビン、ペットボトルを集めに朝から昼まで街中を回って集まった資源が資金になったり、自分でお金を稼ぐという貴重な経験をしています。また、この活動は自主的に積極的に活動しないと意味がなく、常に自分の中にある羞恥心を捨てて知らない人に、英語で話しかける経験を積むことが自分の自信につながっていきました。

留学生活が始まって5ヶ月も経ち沢山のことを経験し学びました。語学や勉強はもちろんのこと、家族、友達の大切さ、自分の意見をはっきり言うこと、自分と違う価値観や習慣を知ること、全てここで学ぶことは、自分の価値観を広げ、将来の糧になると思っています。

このような毎日英語に触れることの出来る生活を送ることも、経験を積むことができるのも全て応援して下さいの皆様（ふるさと納税寄付者の皆様、県の皆様、両親、先生方、ホストファミリー、友人）のおかげです。本当に感謝しています。この貴重な残り半分の留学生活を無駄にしないように大切に過ごします。